

## 船舶インシデント調査報告書

令和5年5月17日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和4年5月4日 06時30分ごろ
発生場所	鹿児島県南さつま市笠沙町野間岬南方沖 薩摩野間岬灯台から真方位188° 2.0海里付近 （概位 北緯31° 23.0′ 東経130° 06.2′）
インシデントの概要	プレジャーボート1997ヤンマーディーゼルは、航行中、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和4年5月13日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 1997ヤンマーディーゼル、2.7トン 295-38719熊本、個人所有 ディーゼル機関、船内外機、4サイクル、出力58.85kW、回転数毎分3,000、4気筒、使用燃料軽油、平成9年1月30日進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、鹿児島県枕崎港を出航し、約15ノットの対地速力で航行中、機関室付近からドカンという音とともに、異常な振動を生じ始めた。</p> <p>船長は、クラッチを一旦中立としてから前進に入れ直したが、振動が収まらないので、再度クラッチを中立として前進に入れ直したところ、主機が停止したので、航行不能と判断して118番通報を行った。</p> <p>本船は、水難救済会所属の救助船により、鹿児島県野間池漁港にえい航された。</p> <p>本船は、同乗者が本インシデントの前月に販売業者から中古で購入し、本インシデント前日の宮崎県内海港から枕崎港までの回航が初めての運航であり、続いて熊本県まで回航する予定であった。</p> <p>本船は、本インシデント後、修理業者による点検が行われ、船内外機のアウトドライブの上部歯車の歯に破損が確認されたが、アウトドライブ内部の潤滑油量の明確な不足や潤滑油の性状に異常は認められず、歯車の歯が破損した原因は分からなかった。</p> <p>販売業者は、前所有者から本船を引き取った後、アウトドライブの</p>

	<p>歯車の潤滑油量を確認していたが、異常は認められなかった。</p> <p>本船は、前所有者により約25年間使用され、主機の運転時間は約2,800時間であった。</p> <p>前所有者から1年に1回、本船の点検整備を委託されていた整備業者は、アウトドライブの潤滑油交換や上部歯車の目視点検を行っていたが、異常を認めていなかった。</p>
<b>分析</b>	<p>本船は、航行中、船内外機のアウトドライブの歯車の歯が破損したことから、歯車のかみ合わせが不良となって、クラッチを前進に入れると主機が停止する状況となり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、1年に1回点検整備を行いアウトドライブの潤滑油交換や上部歯車の目視点検を行っていたが、同歯車に異常は認められず、本インシデント後の点検でも潤滑油等に異常は認められなかったことから、アウトドライブの歯車が破損した原因については明らかにすることができなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本インシデントは、本船が、航行中、船内外機のアウトドライブの歯車の歯が破損したため、歯車のかみ合わせが不良となって、クラッチを前進に入れると主機が停止する状況となったことにより発生したものと考えられる。</p>